

経済学部

School of Economics

経済学部の情報や
詳しいカリキュラムはこちらから▶



実社会で
活躍できる
人材を。

経済学部は、旧制高岡高等商業学校を母体とし、90年を越える歴史と伝統を有しています。私たちは、個人を尊重する共生の精神を基礎に、国際的・歴史的視野からの学術研究の推進と、広い視野を備えた主体性と創造性に富む人材の育成を目指しています。2万人近い卒業生は社会の各分野で高い評価を得ており、男子・女子学生とも高い就職率を誇っています。

本学部は、経済学科・経営学科・経営法学科からなる総合学部として、履修コース制の下で、経済学・経営学・法律学の分野を横断的に

学ぶことができるようにしています。加えて、少人数制のゼミ教育(必修)の他に、中国、ロシア、韓国などの諸外国との交流、実際に企業で活躍している方々による寄附講義、外部講師による講義、インターンシップ(就業体験)の推進など、教育体制の整備を図っています。

また、主に社会人を対象の夜間主コースでは、昼間主コースと同じ4年間で学士の学位を取得できます。さらに、昼と夜の相互乗り入れ制度の利用で、学生の勉学条件に応じた多様な履修を可能としています。

学部長からのメッセージ

社会科学の総合学部

経済学部は、経済学科、経営学科、経営法学科の3つの学科からなる社会科学系の総合学部であり、経済学、経営学、法学を横断的に学ぶことができることが特徴です。

経済学では、市場における経済活動の仕組みについて学びます。今日、環境や貧困、所得格差、少子高齢化、財政、社会保障など、多様な経済・社会問題がみられます。こうした諸問題に対する経済学的な思考力を身につけられるように、経済学科では、基礎から応用までの理論系の科目、制度や歴史を視点とする科目、経済データを統計学的に分析する科目、地域や特定の問題に焦点を当てた科目など様々な切り口から学んでいきます。

経営学では、市場における経済活動の中心を担う企業を対象に、企業行動の仕組みについて学びます。近年のグローバルな規模での競争激化に伴い、各企業は従来とは異なる価値を生み出していくためのイノベーションが求められています。経営学科では、経営環境の変化に対応できる幅広い視野と問題解決能力を持った職業人の育成を

目指し、「経営学」、「商学」、「会計学」、「経営科学」という4つの分野から、理論のみならず、企業活動の事例も取り入れて学んでいきます。法学では、社会や経済活動を支える法律・法制度等について学びます。近年、日常生活における紛争や企業活動における偽装や不正などの違反が増加しており、法の役割がますます重視されるようになっています。経営法学科では、公法系、民事法系および企業関係法系の諸科目を幅広く体系的に習得して、法律や国の仕組み等についての理解を深め、法的思考力を身につけられるよう学んでいきます。

今日、社会が抱える問題は個別専門的な知識だけでは解決が難しいものが多くなっています。経済学部は、社会科学系の総合学部として3つの学科を持つ強みを活かして、それぞれの学問分野を深く学ぶとともに、分野横断的に学ぶことができる体系的なカリキュラムを用意しています。また、2022年度から、社会的ニーズが極めて高いデータサイエンスの知識・能力を実践的に学ぶ「社会データサイエンスコース」を設置予定です。ぜひ本学部に入學され、幅広い専門知識と社会で役立つ実践的な能力を身につけ、社会に貢献できる人材として大いに活躍してほしいと思います。



経済学部長 森口 毅彦

■ 経済学科(昼間主・夜間主) / 経営学科(昼間主・夜間主) / 経営法学科(昼間主・夜間主)

昼間主コースでは、経済学・経営学・法律学の専門知識を幅広く身に付けた人材育成を目指し、2年次から履修コース制を導入しています。学科によって選択できるコースに違いがあります。所属する学科にあわせて、3つの履修コースから1つを選択します。

社会データサイエンスコース

データ主導で社会の課題を解決するための方法について学びます。

地域公共政策コース

国・自治体の政策について経済学・経営学・法学・政治学の面から多角的に学びます。

社会経済コース

歴史的な視野を通じた社会制度・政治制度を含み経済学を中心に学びます。

企業経営コース

戦略的なマネジメントの理論について実例を交え体系的に学びます。

経営法務コース

法律学を総合的かつ体系的に学び、基本的な概念・法技術を学びます。

このような人を求めています

社会科学の分野に興味・関心を持ち、次のような能力を身に付けて積極的に地域・国際社会に貢献する意欲がある人材を求めます。

- ・問題解決能力や創造力
- ・幅広い知識や専門的知識の修得
- ・他者及び多様な文化を持つ者とのコミュニケーション能力

●入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)より
※各ポリシーの全文は、本学ウェブサイトに掲載しています。

このような人を育てます

幅広い知識、専門的学識、問題発見・解決力、社会貢献力、コミュニケーション能力を身に付けている。

●卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)より

このような教育を行います

- ・1年次に、幅広い知識を身に付けるため、教養教育を実施する。経済学部では、専門的学識の修得基盤となる経済、経営、法律分野の導入科目を必修科目として実施する。
- ・2年次から、幅広い知識と専門的学識を体系的に身に付けさせるため、学科横断的な5つの履修コースのうちいずれかに所属させ、各分野の基礎科目を選択必修科目として実施するとともに発展科目を実施する。コミュニケーション能力を身に付けさせるため、基礎ゼミナールを必修科目として実施する。
- ・3年次では、より深い専門知識とコミュニケーション能力を身に付けさせるため、2年次に引き続き専門ゼミナールを必修科目として実施する。また、問題発見・解決力を育むために社会人講師による講義を実施するとともに、社会貢献力の醸成を図るため、キャリア形成に関する科目を実施する。
- ・4年次においても専門ゼミナールを必修科目として実施し、卒業論文を完成することによって、専門的学識の修得と問題発見・解決力、コミュニケーション能力を修得させる。

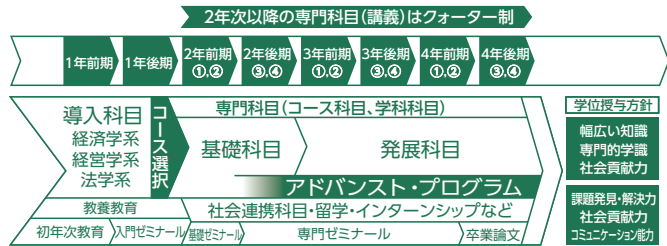
注意：基礎ゼミナール、履修コース制は昼間主のみ。夜間主では卒業論文は選択

●教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

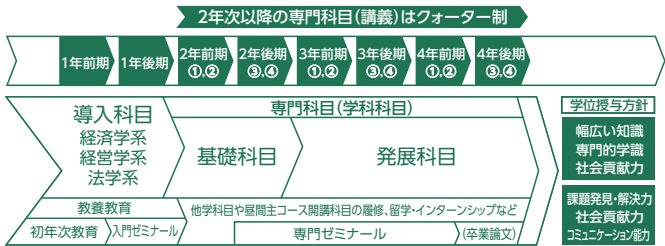
学修の流れ

昼間主コース

アドバンスト・プログラムは一定の要件を満たした人が選択できる発展的なプログラムであり、プログラムごとに専門科目や演習、留学、GPAなどの修了要件が定められています。



夜間主コース



取得可能な 免許・資格

〔資格〕全学科 ●社会調査士 ※所定科目の単位を取得することが条件です。

主な就職先 (2020年度卒業生)

●北陸銀行 ●富山第一銀行 ●三協立山 ●YKK AP ●スギノマシン ●三谷産業 ●クスリのアオキ ●北陸電力 ●日本海ガス ●北陸電気工事 ●インテック ●北國新聞社 ●富山県庁 ●富山市役所 ●高岡市役所 ●射水市役所 ●金沢市役所 ●金沢国税局など

※学部の卒業により税理士、社会保険労務士、公認会計士、不動産鑑定士等の受験資格取得、ビジネス・スクール、ロースクール進学等の多様な道への準備が可能です。